

臨床研究「小児における胆汁うっ滞性疾患の後方視的調査」について

筑波大学附属病院小児科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

黄疸や肝障害などの肝臓の異常を呈する小児期胆汁うっ滞性疾患の実態を調査し、同じ様な病気の患者さんに対してより正確な診断やより良い治療方針の立案に役立てます。

② 研究対象者

2001年4月1日から2020年3月31日までに筑波大学附属病院小児科で胆汁うっ滞性疾患の診断・治療を受けた16歳未満の患者さんを対象とします。

③ 研究期間 倫理審査委員会承認後～2025年3月31日まで

④ 研究の方法

カルテなどで過去の診療記録を参照し、小児期胆汁うっ滞性疾患の実態調査をとりまとめる研究です。筑波大学附属病院臨床倫理審査委員会の承認下で行われます。

⑤ 試料・情報の項目 病歴、臨床経過、検査結果（生化学、画像、病理）などを研究に用います。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者 今川 和生（筑波大学医学医療系小児科・講師）

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

所属・担当者：小児科 今川和生

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-5635（平日9時～17時）

FAX：029-853-8819